

4. 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

イ 男女別在籍者数（令和7年5月1日現在）

性別	1年次	2年次	3年次	4年次	計
男	180	134	133	160	607
女	107	49	65	92	313
計	287	183	198	252	920

※休学者の数は在籍者の内数

ロ 出身地別在籍者数（令和7年5月1日現在）

出身地		1年次	2年次	3年次	4年次	計
山形県内	村山	59	45	43	47	194
	最上	11	14	11	19	55
	置賜	33	27	26	34	120
	庄内	60	48	56	73	237
	小計	163	134	136	173	606
山形県外	北海道		1			1
	青森県	11	1	1	6	19
	岩手県	24	3	6	7	40
	秋田県	51	17	27	36	131
	宮城県	11	5	4	3	23
	福島県	15	10	12	13	50
	東京都	1				1
	神奈川県		4			4
	新潟県	6	2	1	2	11
	石川県				1	1
	福井県		2	1		3
	長野県	1	1	2	1	5
	静岡県	1				1
	愛知県	1		2	1	4
	大阪府			1		1
	兵庫県				1	1
	福岡県			1		1
	熊本県				1	1
	大分県		2		2	4
	宮崎県			2	2	4
	沖縄県	1	1	2	2	6
	中国	1				1
	ネパール				1	1
	小計	124	49	62	79	314
計		287	183	198	252	920

ハ 退学・除籍・休学の状況（令和6年度）（令和7年5月1日現在）

学年	1年次		2年次		3年次		4年次		計		累計
退学者	6		9		5		3		23		566
除籍者	1		1		1		1		4		49
休学者	春学期 0	秋学期 1	春学期 0	秋学期 2	春学期 2	秋学期 3	春学期 1	秋学期 1	春学期 3	秋学期 7	—

② 公益学研究科〔収容定員 修士課程 60 名、博士後期課程 12 名〕

イ 男女別在籍者数（令和 7 年 5 月 1 日時点）

性別	修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
男	1	8	0	0	1	10
女	2	6	0	0	0	8
計	3	14	0	0	1	18

ロ 出身地別在籍者数（令和 7 年 5 月 1 日時点）

出身地		修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
山形県内	村山	0	1	0	0	1	2
	最上	0	1	0	0	0	1
	置賜	1	2	0	0	0	3
	庄内	1	8	0	0	0	9
	小計	2	12	0	0	1	15
山形県外	秋田	0	1	0	0	0	1
	福島	1	0	0	0	0	1
	神奈川	0	1	0	0	0	1
	小計	1	2	0	0	0	3
合計		3	14	0	0	1	18

ハ 退学・休学の状況（令和 6 年度）（令和 7 年 5 月 1 日現在）

学 年	修士課程	博士後期課程	合計
退学者	1	0	1
除籍者	0	0	0
休学者（春学期）	1	0	1
休学者（秋学期）	4	0	4

ニ 科目等履修生の入学者数（令和 6 年度）

令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	5 年度合計
3	10	5	3	5	26

(2) 公益学部履修科目

○カリキュラム(2020・2019年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要 単位	備考（卒業要件等）	
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター				
基礎 教育 科目	基礎 教育 科目	スタンダード導入科目 [8単位]	●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ[1] ●現代公益論Ⅱ[1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]								必修	8		
		教養科目	Ⅰ群 [24単位] 哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 文化人類学[2] 英国庭園文化論[2] 世界地誌[2] Ⅱ群 [22単位] 経済学[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] ジェンダー論[2] 環境社会学[2] 教育学[2] 生涯学習概論[2] 特別支援教育[2] Ⅲ群 [15単位] 数学a[1] 数学b[1] 実用数学a[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2] 自然地理学a[2] 自然地理学b[2]								選択	24以上	・各群から4単位以上修得	
		リテラシー科目	外国語科目 [各8単位] ○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ /○中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [各1] ○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ /○中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ [各1] ○英語Ⅶ/OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ [各1] ○英語Ⅷ/OEAPⅧ [各1] 情報科目 [8単位] ●情報リテラシー[2] ●情報リテラシーⅡ[2] ●基礎プログラミングⅠ[2] ●基礎プログラミングⅡ[2]								選択必修	8以上	・同一言語8単位必修	
		情報科目	●情報リテラシー[2] ●情報リテラシーⅡ[2] ●基礎プログラミングⅠ[2] ●基礎プログラミングⅡ[2]								必修	8		
専門 教育 科目	専門 教育 科目	系共通科目 [12単位]	○基礎簿記Ⅰ[2] ○基礎簿記Ⅱ[2] ○経営学基礎[2] ○地域福祉論a[2] ○ミクロ経済学[2] ○マクロ経済学[2]								選択	58以上 （発展教育科目と合算して）	・所属系から35単位以上修得 ・所属系の系共通科目及び発展教育科目の特別プログラム基礎科目（2021年度は休講）から合計6単位以上修得 ・国際教養コースに所属する場合は、選択した語学の語学科目はすべて必修 ■英語、▲中国語	
		経営コース [41単位]	データ分析手法a[1] データ分析手法b[1] 経済史[2] 経営管理論[2] 経営工学a[1] 経営工学b[1] 職場のメンタルヘルス[2] マーケティング論[2] 福祉経営論[2] 環境マネジメント論b[1] 会計学[2] 管理会計[2] 経済学特論a[2] 経済学特論b[2] 金融論[2] 産業組織論[2] 経営戦略論[2] 人的資源管理論[2] 企業法務[2] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2] 企業組織の心理学[2] ゲーム理論[2]											
		政策コース [38単位]	公共経営論[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 行政法[2] 統治機構論[2] 政策入門[2] 国際海洋法[2] 公共系科目演習a[1] 公共系科目演習b[1] 社会政策a[1] 社会政策b[1] 社会保険論Ⅰ[2] 社会保険論Ⅱ[2] 公的年金論[2] 民法Ⅰ[2] 民法Ⅱ[2] 憲法[2] 地方財政論[2] 国際法[2] 国際関係の法と経済[2]											
		地域福祉コース [28単位]	障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利擁護と成年後見[2] ソーシャルワーク総論a[2] ソーシャルワーク総論b[2] 地域福祉論b[2] 相談援助の理論と方法a[2] 相談援助の理論と方法b[2] 相談援助の理論と方法c[2] 相談援助の理論と方法d[2] 高齢者福祉論[2] 児童福祉論[2] 精神保健学[2]											
		系共通科目 [16単位]	○日本文化論[2] ○観光・まちづくり概論a[1] ○観光・まちづくり概論b[1] ○世界経済事情[2] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] ○サブカルチャー論a[1] ○サブカルチャー論b[1] ○社会調査論a[1] ○社会調査論b[1] ○インターネットと社会[1] ○マルチメディア論[1] ○セキュリティ論[1] ○データサイエンス入門a[1] ○データサイエンス入門b[1]								選択	58以上 （発展教育科目と合算して）	・国際教養コース語学科目の他コース学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目： Advanced English Communication TOEIC[中級] TOEIC[上級] 中国語科目： 中国語会話[初級] 中国語会話[中級] 中国語検定対策Ⅰ	
		国際教養コース [46単位]	国際関係論[2] 国際協力論[2] 国際ビジネス論[2] アジア経済論[2] 中国経済論[2] 中国文化論[2] 比較文化論[2] 多文化共生論[2] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] International Economics[2] 国際行政学[2] EU論[2] 海外インターンシップ[2] 【語学科目】 ■Advanced English Communication[1] ■English PresentationⅠ[1] ■English PresentationⅡ[1] ■Intensive ReadingⅠ[1] ■Intensive ReadingⅡ[1] ■Academic Writing[1] ■TOEIC[中級][1] ■TOEIC[上級][1] ■Intensive TOEIC[1] ▲中国語会話[初級][1] ▲中国語会話[中級][1] ▲中国語中級講義Ⅰ[1] ▲中国語中級講義Ⅱ[1] ▲中国語リスニング[1] ▲中国語検定対策Ⅰ[1] ▲中国語検定対策Ⅱ[1] ▲中国語上級講義[1] ▲中国語作文[1]											
		観光・まちづくりコース [36単位]	観光産業論a[1] 観光産業論b[1] 観光政策論a[1] 観光政策論b[1] 地域・観光資源論[2] 国際観光論a[1] 国際観光論b[1] 余暇と観光の社会学[2] 民俗学と観光Ⅰ[1] 民俗学と観光Ⅱ[1] グリーンツーリズム論[2] 第六次産業論[2] 自然環境の保全と共生[2] 風景のデザインa[1] 風景のデザインb[1] 中心市街地の再生[2] 中山間・離島地域論[2] NPO・NGO論[2] 社会起業家論Ⅰ[1] 社会起業家論Ⅱ[1] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2] 日本地誌[2]											
		メディア情報コース [38単位]	ゲームデザインa[1] ゲームデザインb[1] Unix演習a[1] Unix演習b[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] 数値情報処理a[1] 数値情報処理b[1] 情報デザイン論a[1] 情報デザイン論b[1] 計算機基礎理論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データベース論[1] データベース演習[1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報システムa[1] 情報システムb[1] 情報システムc[1] 情報システムd[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 応用数学a[1] 応用数学b[1] 応用数学c[1] 応用数学d[1] 機械学習入門a[1] 機械学習入門b[1] 統計モデリングa[1] 統計モデリングb[1] 機械学習理論a[1] 機械学習理論b[1] 機械学習理論c[1] 機械学習理論d[1] 情報数学a[1] 情報数学b[1]											
		専門演習	一般 [8単位]	●専門演習Ⅰ[4] ●専門演習Ⅱ[4]								必修	8	
			留学 [8単位]	○専門演習(留学)Ⅰa[2] ○専門演習(留学)Ⅰb[2] ○専門演習(留学)Ⅰc[2] ○専門演習(留学)Ⅱ[2]								必修	2	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める
発展 教育 科目	発展 教育 科目	特別プログラム基礎科目	現代メディア論[2]								選択	専5門8教以上(専門科目と合算して)を要する	・実践外国語 長期留学中の外国語に関わる学習時間に応じて単位認定 ・国際教養コース所属の場合、「短期語学留学」又は「実践外国語」より選択必修	
		社会福祉士養成課程 [20単位]	相談援助演習Ⅰ[2] 相談援助演習Ⅱ[2] 相談援助演習Ⅲ[2] 相談援助演習Ⅳ[2] 相談援助演習Ⅴ[2] 相談援助実習指導Ⅰ[1] 相談援助実習指導Ⅱ[1] 相談援助実習指導Ⅲ[1] 相談援助実習指導Ⅳ[1] 相談援助実習Ⅰ[3] 相談援助実習Ⅱ[3]											
		特別プログラム応用科目 [6単位]	特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)											
		ロシア語 [6単位]	ロシア語1[1] ロシア語2[1] ロシア語3[1] ロシア語4[1] 日本語演習a[1] 日本語演習b[1] 日本語演習c[1] 日本事情[1]											
		留学外国語	短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*]											
人材 育成 強化 科目	キャリア科目	基本科目 [6単位]	●キャリア入門a[1] ●キャリア入門b[1] ●キャリアと人生a[1] ●キャリアと人生b[1] 就職セミナー[2]								必修／ 選択	10以上	・応用演習科目から4単位以上修得 設置科目数 計295科目 修得単位数 計124単位以上	
		発展科目 [6単位]	文章表現法[2] 日経講座：メガトレンド論[2] ジャーナリズムの倫理[2]											
		応用演習科目 [16単位+]	○インターンシップ1[2] ○インターンシップ2[2] ○インターンシップ3[2] ○インターンシップ4[2] ○7'09'i外型応用演習1[2] ○7'09'i外型応用演習2[2] ○競争型課題解決演習1[2] ○競争型課題解決演習2[2]											
リメディアル科目			●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2								卒業単位外		・修得が義務	

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

ロカリキュラム(2023・2022・2021年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要 単位	備考[卒業要件等]	
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター				
基礎 教育 科目	〔4科目〕〔34単位〕	スタンダード導入科目 〔6科目〕〔8単位〕	●基礎演習a〔2〕 ●基礎演習b〔2〕 ●現代公益論Ⅰ〔1〕 ●現代公益論Ⅱ〔1〕 ●山形地域論a〔1〕 ●山形地域論b〔1〕								必修	8		
		外国語科目	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ /○中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 〔各1〕		○英語Ⅶ/ OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ 〔各1〕	○英語Ⅶ/ OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ 〔各1〕					選択 必修	8	・同一言語8単位必修	
		情報科目	●情報リテラシー〔2〕		●データリテラシー〔2〕	●基礎プログラミングⅠ〔2〕	●基礎プログラミングⅡ〔2〕				必修	8		
		キャリア科目	●キャリア入門a〔1〕 ●キャリア入門b〔1〕				●キャリアと人生a〔1〕 ●キャリアと人生b〔1〕	就職セミナー〔2〕			必修 / 選択		・●科目は必修 ・共通科目と合わせて30単位以上	
		アントレプレナーシップ演習1〔2〕 アントレプレナーシップ演習2〔2〕 アントレプレナーシップ演習3〔2〕 アントレプレナーシップ演習4〔2〕 アントレプレナーシップ演習5〔2〕 アントレプレナーシップ演習6〔2〕												
共通 科目			文章表現法〔2〕 日経講座：メガトレンド論〔2〕 現代メディア論〔2〕 ジャーナリズムの倫理〔2〕											
		人文社会系 〔21単位〕〔149単位〕	哲学〔2〕 倫理学〔2〕 文学概論〔2〕 心理学〔2〕 日本史a〔2〕 日本史b〔2〕 西洋史a〔2〕 西洋史b〔2〕 人文地理学a〔2〕 文化人類学〔2〕 世界地誌〔2〕 法学〔2〕 政治学〔2〕 社会学〔2〕 教育学〔2〕 特別支援教育〔2〕 環境社会学〔2〕 自然地理学a〔2〕 自然地理学b〔2〕 ソーシャルワークの基礎と専門職a〔2〕 ソーシャルワークの基礎と専門職b〔2〕											
		STEAM系 〔14単位〕〔109単位〕	英国庭園文化論〔2〕 経済学〔2〕 数学a〔1〕 数学b〔1〕 実用数学〔1〕 物理学〔2〕 天文学a〔1〕 天文学b〔1〕 統計学a〔1〕 統計学b〔1〕 医学一般〔2〕 ○日経講座：デジタル社会論〔2〕 ○セキュリティ論〔1〕 ○AIと社会Ⅰ〔○から2単位選択必修〕											
		SDGs導入科目 〔20単位〕〔109単位〕	生涯学習論〔2〕 ジェンダー論〔2〕 貧困と福祉〔2〕 都市と交通〔2〕 食糧とエネルギー〔2〕 水と大気〔2〕 海ごみ問題と循環型社会デザイン〔2〕 SDGsと未来デザイン〔2〕											
専門 教育 科目		共通専門科目 〔12科目〕〔18単位〕	○問題解決の思考法〔1〕 ○情報発信・ファシリテーションの技法〔1〕（○から1科目選択必修） 基）基礎簿記Ⅰ〔2〕 基礎簿記Ⅱ〔2〕 社会福祉学a〔2〕 社会福祉学b〔2〕 観光・まちづくり概論a〔1〕 観光・まちづくり概論b〔1〕 社会調査論a〔1〕 社会調査論b〔1〕 中）ミクロ経済学〔2〕 マクロ経済学〔2〕											
		経営コース 〔41単位〕	基）経営学基礎〔2〕 中）経済史〔2〕 経営管理論〔2〕 経営戦略論〔2〕 経営工学a〔1〕 経営工学b〔1〕 職場のメンタルヘルス〔2〕 環境マネジメント論〔1〕 企業法務〔2〕 会計学〔2〕 管理会計〔2〕 上）経済学特論a〔2〕 経済学特論b〔2〕 金融論〔2〕 産業組織論〔2〕 ゲーム理論〔2〕 人的資源管理論〔2〕 マーケティング論〔2〕 企業組織の心理学〔2〕 ライフサイクルアセスメント論a〔1〕 ライフサイクルアセスメント論b〔1〕 企業財務分析〔2〕 非営利組織会計〔2〕											
		政策コース 〔38単位〕	中）政策入門〔2〕 社会保障論a〔2〕 社会保障論b〔2〕 公的年金論〔2〕 憲法〔2〕 統治機構論〔2〕 行政法〔2〕 民法Ⅰ〔2〕 国際法〔2〕 国際海洋法〔2〕 行政学〔2〕 地方自治論〔2〕 日本政治論Ⅰ〔2〕 上）公共経営論〔2〕 公共系科目演習a〔1〕 公共系科目演習b〔1〕 民法Ⅱ〔2〕 国際関係の法と経済〔2〕 地方財政論〔2〕 日本政治論Ⅱ〔2〕											
		地域福祉コース 〔34単位〕	基）地域福祉と包括的支援体制Ⅰ〔2〕 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ〔2〕 中）ソーシャルワークの理論と方法a〔2〕 ソーシャルワークの理論と方法b〔2〕 ソーシャルワークの理論と方法c〔2〕 ソーシャルワークの理論と方法d〔2〕 高齢者福祉論〔2〕 児童・家庭福祉論〔2〕 障害者福祉論〔2〕 公的扶助論〔2〕 医療福祉論〔2〕 権利擁護と成年後見〔2〕 刑事司法と福祉〔2〕 社会福祉調査〔2〕 福祉経営論〔2〕 上）社会政策a〔1〕 社会政策b〔1〕 精神保健学〔2〕											
		国際教養コース 〔34単位（ほか語学科 目18単位〔英語・中国 語各9単位）〕	基）日本文化論〔2〕 世界経済事情〔2〕 サブカルチャー論a〔1〕 サブカルチャー論b〔1〕 中）国際関係論〔2〕 国際協力論〔2〕 アジア経済論〔2〕 中国文化論〔2〕 比較文化論〔2〕 アメリカ事情〔2〕 西洋文学史〔2〕 多文化共生論〔2〕 上）国際ビジネス論〔2〕 中国経済論〔2〕 International Economics〔2〕 国際行政学〔2〕 EU論〔2〕 海外インターンシップ〔2〕											
		観光・まちづくりコース 〔36単位〕	〔語学科目〕 ■Advanced English Communication〔1〕 ■English PresentationⅠ〔1〕 ■English PresentationⅡ〔1〕 ■Intensive ReadingⅠ〔1〕 ■Intensive ReadingⅡ〔1〕 ■Academic Writing〔1〕 ■TOEIC（中級）〔1〕 ■TOEIC（上級）〔1〕 ■Intensive TOEIC〔1〕 ▲中国語会話（初級）〔1〕 ▲中国語会話（中級）〔1〕 ▲中国語中級講読Ⅰ〔1〕 ▲中国語中級講読Ⅱ〔1〕 ▲中国語リスニング〔1〕 ▲中国語検定対策Ⅰ〔1〕 ▲中国語検定対策Ⅱ〔1〕 ▲中国語上級講読〔1〕 ▲中国語作文〔1〕											
		メディア情報コース 〔43単位〕	中）観光産業論a〔1〕 観光産業論b〔1〕 観光政策論a〔1〕 観光政策論b〔1〕 国際観光論a〔1〕 国際観光論b〔1〕 自然環境の保全と共生〔2〕 中山間・離島地域論〔2〕 地域・観光資源論〔2〕 民俗学と観光Ⅰ〔1〕 民俗学と観光Ⅱ〔1〕 中心市街地の再生〔2〕 風景のデザインa〔1〕 風景のデザインb〔1〕 観光・まちづくり演習a〔2〕 観光・まちづくり演習b〔2〕 人文地理学b〔2〕 上）NPO・NGO論〔2〕 第六次産業論〔2〕 社会起業家論Ⅰ〔1〕 社会起業家論Ⅱ〔1〕 余暇と観光の社会学〔2〕 グリーンツーリズム論〔2〕											
発展 教育 科目	一般	メディア情報コース 〔43単位〕	基）ゲームデザインa〔1〕 ゲームデザインb〔1〕 Unix演習a〔1〕 Unix演習b〔1〕 地理情報基礎演習〔1〕 画像情報処理〔1〕 マルチメディア論〔1〕 データサイエンス入門a〔1〕 データサイエンス入門b〔1〕 中）数値情報処理a〔1〕 数値情報処理b〔1〕 情報デザイン論a〔1〕 情報デザイン論b〔1〕 計算機基礎理論〔1〕 コンピュータシステム論〔1〕 システム開発技術論〔1〕 企業活動と情報システム〔1〕 データ分析手法a〔1〕 データ分析手法b〔1〕 情報数学a〔1〕 情報数学b〔1〕 上）データベース論〔1〕 データベース演習〔1〕 情報システムa〔1〕 情報システムb〔1〕 インターネット論〔1〕 インターネット演習〔1〕 情報システムc〔1〕 情報システムd〔1〕 応用プログラミング〔1〕 データ構造とアルゴリズム〔1〕 応用数学a〔1〕 応用数学b〔1〕 機械学習入門a〔1〕 機械学習入門b〔1〕 応用数学c〔1〕 応用数学d〔1〕 統計モデリングa〔1〕 統計モデリングb〔1〕 機械学習理論a〔1〕 機械学習理論b〔1〕 機械学習理論c〔1〕 機械学習理論d〔1〕											
		応用演習科目 〔10科目〕	中級）プロジェクト型応用演習1〔2〕 プロジェクト型応用演習2〔2〕 競争型課題解決演習1〔2〕 競争型課題解決演習2〔2〕											
		基礎）インターンシップ1〔2〕 インターンシップ2〔2〕 インターンシップ3〔2〕 インターンシップ4〔2〕 課題解決実践演習〔*〕	上級）産学連携型長期学外学修											
発展 教育 科目	留学	一般	●専門演習Ⅰ〔4〕											
		留学	●専門演習Ⅱ〔4〕											
		留学	●専門演習Ⅱ〔留学〕〔2〕											
発展 教育 科目	外国語 発展 科目 〔11 科目〕	社会福祉士養成課程 〔11科目〕〔22単位〕	中）ソーシャルワーク演習Ⅰ〔2〕 ソーシャルワーク演習Ⅱ〔2〕 ソーシャルワーク演習Ⅲ〔2〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ〔1〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ〔1〕 上）ソーシャルワーク演習Ⅳ〔2〕 ソーシャルワーク演習Ⅴ〔2〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅲ〔1〕 ソーシャルワーク実習Ⅰ〔2〕 ソーシャルワーク実習Ⅱ〔3〕 ソーシャルワーク実習Ⅲ〔3〕											
		ロシア語 日本語	初級）ロシア語1〔1〕 ロシア語2〔1〕 日本語演習a〔1〕 日本語演習b〔1〕 中級）ロシア語3〔1〕 ロシア語4〔1〕 日本語演習c〔1〕 日本事情〔1〕											
		短期語学留学1〔*〕 短期語学留学2〔*〕	実践外国語〔期間・大学名〕〔*〕											
リメディアル科目〔2科目〕 ●国語基礎 ●数学基礎			卒業単位外											・修得が義務

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

設置科目数 計308科目
修得単位数 計124単位以上

ロカリキュラム(2024年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次	3年次	4年次		種別	必要単位	備考[卒業要件等]						
			第1セメスター	第2セメスター			第7セメスター	第8セメスター									
基礎教育科目	「4」リテラシー科目	スタンディ導入科目 [6科目] [8単位]	●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ[1] ●現代公益論Ⅱ[1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]						必修	8							
		外国語科目	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ /O中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [各1] ○英語Ⅶ/OEAPⅦ /O中国語Ⅶ・Ⅷ [各1] ○英語Ⅷ/OEAPⅧ [各1]						選択必修	8	・同一言語8単位必修						
		情報科目	●情報リテラシー[2] ●データリテラシー[2] ●基礎プログラミングⅠ[2] ●キャリアデザインa[2] ●キャリアデザインb[2]						必修	8							
		キャリア科目	アントレプレナーシップ演習1[2] アントレプレナーシップ演習2[2] アントレプレナーシップ演習3[2] アントレプレナーシップ演習4[2] アントレプレナーシップ演習5[2] アントレプレナーシップ演習6[2]						必修 / 選択		・●科目は必修 ・共通科目と合わせて30単位以上						
		共通科目	文章表現法[2] 日経講座：メガトレンド論[2] 現代メディア論[2] ジャーナリズムの倫理[2]														
専門教育科目		人文社会系 [24単位] [4単位]	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 文化人類学[2] 世界地誌[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 教育学[2] 特別支援教育[2] 環境社会学[2] 自然地理学a[2] 自然地理学b[2] ソーシャルワークの基盤と専門職a[2] ソーシャルワークの基盤と専門職b[2]						30以上		・人文社会系の区分から6単位以上 ・STEAM系の区分から4単位以上 ・SDGs導入科目の区分から2単位以上						
		STEAM系 [14単位] [2単位]	英国庭園文化論[2] 経済学[2] 数学a[1] 数学b[1] 実用数学[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2] ○日経講座：デジタル社会論[2] ○セキュリティ論[1] ○AIと社会[1] (○から2単位選択必修)						選択								
		SDGs導入科目 [20単位] [2単位]	生涯学習論[2] ジェンダー論[2] 貧困と福祉[2] 都市と交通[2] 食糧とエネルギー[2] 水と大気[2] 海ごみ問題と循環型社会デザイン[2] SDGsと未来デザイン[2]														
		共通専門科目 [12科目] [18単位]	○問題解決の思考法[1] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] (○から1科目選択必修) 基) 基礎簿記Ⅰ[2] 基礎簿記Ⅱ[2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] 観光・まちづくり概論a[1] 観光・まちづくり概論b[1] 社会調査論a[1] 社会調査論b[1] 中) ミクロ経済学[2] マクロ経済学[2]						選択必修		・○科目のどちらか選択必修 ・○科目を含む6単位以上						
発展教育科目		経営コース [41単位]	基) 経営学基礎[2] 中) 経済史[2] 経営管理論[2] 経営戦略論[2] 経営工学a[1] 経営工学b[1] 職場のメンタルヘルス[2] 環境マネジメント論[1] 企業法務[2] 会計学[2] 管理会計[2] 上) 経済学特論a[2] 経済学特論b[2] 金融論[2] 産業組織論[2] ゲーム理論[2] 人的資源管理論[2] マーケティング論[2] 企業組織の心理学[2] ライフサイクルアセスメント論a[1] ライフサイクルアセスメント論b[1] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2]						62以上 (発展教育科目と合算して)	選択	・国際教養コースに所属する場合は、 選択した語学の語学科目はすべて必修 【■英語、▲中国語】 ・国際教養コース語学科目の他コース 学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目： Advanced English Communication TOEIC(中級) TOEIC(上級) 中国語科目： 中国語会話(初級) 中国語会話(中級) 中国語検定対策Ⅰ						
		政策コース [38単位]	中) 政策入門[2] 社会保障論a[2] 社会保障論b[2] 公的年金論[2] 憲法[2] 統治機構論[2] 行政法[2] 民法Ⅰ[2] 国際法[2] 国際海洋法[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 日本政治論Ⅰ[2] 上) 公共経営論[2] 公共系科目演習a[1] 公共系科目演習b[1] 民法Ⅱ[2] 国際関係の法と経済[2] 地方財政論[2] 日本政治論Ⅱ[2]														
		地域福祉コース [34単位]	基) 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ[2] 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ[2] 中) ソーシャルワークの理論と方法a[2] ソーシャルワークの理論と方法b[2] ソーシャルワークの理論と方法c[2] ソーシャルワークの理論と方法d[2] 高齢者福祉論[2] 児童・家庭福祉論[2] 障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利擁護と成年後見[2] 刑事司法と福祉[2] 社会福祉調査[2] 福祉経営論[2] 上) 社会政策a[1] 社会政策b[1] 精神保健学[2]														
		国際教養コース [34単位 (ほか専学科目18単位(英語・中国語各9単位))]]	基) 日本文化論[2] 世界経済事情[2] サパカルチャー論a[1] サパカルチャー論b[1] 中) 国際関係論[2] 国際協力論[2] アジア経済論[2] 中国文化論[2] 比較文化論[2] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] 多文化共生論[2] 上) 国際ビジネス論[2] 中国経済論[2] International Economics[2] 国際行政学[2] EU論[2] 海外インターンシップ[2] 〔語学科目〕 ■Advanced English Communication[1] ■English PresentationⅠ[1] ■English PresentationⅡ[1] ■Intensive ReadingⅠ[1] ■Intensive ReadingⅡ[1] ■Academic Writing[1] ■TOEIC (中級) [1] ■TOEIC (上級) [1] ■Intensive TOEIC[1] ▲中国語会話 (初級) [1] ▲中国語会話 (中級) [1] ▲中国語中級講義Ⅰ[1] ▲中国語中級講義Ⅱ[1] ▲中国語リスニング[1] ▲中国語検定対策Ⅰ[1] ▲中国語検定対策Ⅱ[1] ▲中国語上級講義[1] ▲中国語作文[1]														
		観光・まちづくりコース [36単位]	中) 観光産業論a[1] 観光産業論b[1] 観光政策論a[1] 観光政策論b[1] 国際観光論a[1] 国際観光論b[1] 自然環境の保全と共生[2] 中間・離島地域論[2] 地域・観光資源論[2] 民俗学と観光Ⅰ[1] 民俗学と観光Ⅱ[1] 中心市街地の再生[2] 風景のデザインa[1] 風景のデザインb[1] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2] 人文地理学b[2] 日本地誌[2] 上) NPO・NGO論[2] 第六次産業論[2] 社会起業家論Ⅰ[1] 社会起業家論Ⅱ[1] 余暇と観光の社会学[2] グリーンツーリズム論[2]														
		メディア情報コース [43単位]	基) ゲームデザインa[1] ゲームデザインb[1] Unix演習a[1] Unix演習b[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] マルチメディア論[1] データサイエンス入門a[1] データサイエンス入門b[1] 中) 数値情報処理a[1] 数値情報処理b[1] 情報デザイン論a[1] 情報デザイン論b[1] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データ分析手法a[1] データ分析手法b[1] 情報数学a[1] 情報数学b[1] 上) データベース論[1] データベース演習[1] 情報システムa[1] 情報システムb[1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報システムc[1] 情報システムd[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 応用数学a[1] 応用数学b[1] 機械学習入門a[1] 機械学習入門b[1] 応用数学c[1] 応用数学d[1] 統計モデリングa[1] 統計モデリングb[1] 機械学習理論a[1] 機械学習理論b[1] 機械学習理論c[1] 機械学習理論d[1]														
		応用演習科目 [10科目]	中級) プロジェクト型応用演習1[2] プロジェクト型応用演習2[2] 競争型課題解決演習1[2] 競争型課題解決演習2[2]									選択必修		・4単位選択必修			
		専門演習	一般					●専門演習Ⅰ[4]				●専門演習Ⅱ[4]		必修	8		
		留学						○専門演習[留学]Ⅰa[2]				○専門演習[留学]Ⅰb[2]					
								○専門演習[留学]Ⅰc[2]				●専門演習Ⅱ[留学][2]		(2)		・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める	
発展教育科目	外国語発展科目 [11科目]	社会福祉士養成課程 [11科目] [21単位]	中) ソーシャルワーク演習Ⅰ[2] ソーシャルワーク演習Ⅱ[2] ソーシャルワーク演習Ⅲ[2] ソーシャルワーク実習指導Ⅰ[1] ソーシャルワーク実習指導Ⅱ[1] 上) ソーシャルワーク演習Ⅳ[2] ソーシャルワーク演習Ⅴ[2] ソーシャルワーク実習指導Ⅲ[1] ソーシャルワーク実習Ⅰ[2] ソーシャルワーク実習Ⅱ[3] ソーシャルワーク実習Ⅲ[3]								設置科目数 計312科目 修得単位数 計1244単位以上						
		ロシア語 日本語	初級) ロシア語1[1] ロシア語2[1] 日本語演習a[1] 日本語演習b[1] 中級) ロシア語3[1] ロシア語4[1] 日本語演習c[1] 日本事情[1]														
		短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*]															
		実践外国語[期間・大学名]*															
リメディアル科目 [2科目]		●国語基礎 ●数学基礎								卒業単位外	・修得が義務						
●必修科目 ○選択必修科目												合計 124					

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

(3) 公益学研究科履修科目

① 修士課程

科目区分		研究領域および科目名			
共通科目	必修科目	公益学総論 論文作成法 共創の技法			
	選択科目	情報基礎 統計学 社会調査論 哲学 倫理学			
専門科目		組織経営領域	国際関係領域	情報科学領域	地域共創領域
	コア科目	組織経営研究 1 (経済学)	国際関係研究 1 (国際社会論)	情報科学研究 1 (公益情報システム)	地域共創研究 1 (公共性の社会学)
		組織経営研究 2 (経営学)	国際関係研究 2 (多文化共生論)	情報科学研究 2 (人工知能特論)	地域共創研究 2 (社会政策論)
		組織経営研究 3 (組織論)	国際関係研究 3 (比較文化論)	情報科学研究 3 (多変量解析)	地域共創研究 3 (ソーシャルワーク論)
		組織経営研究 4 (法学)	国際関係研究 4 (グローバル・ガバナンス論)	情報科学研究 4	地域共創研究 4 (地域デザイン論)
	選択科目	組織経営研究 a (財政学)	国際関係研究 a (移民・難民論)	情報科学研究 a (情報ネットワーク特論)	地域共創研究 a (ソーシャルキャピタル論)
		組織経営研究 b (会計学)	国際関係研究 b (国際法)	情報科学研究 b (人間工学)	地域共創研究 b (NPO・非営利組織論)
		組織経営研究 c (行政学)	国際関係研究 c (地域文化研究)	情報科学研究 c (情報数理)	地域共創研究 c (合意形成・ コーディネーション論)
		組織経営研究 d (政治学)	国際関係研究 d (地域政治研究)	情報科学研究 d (自然言語処理)	地域共創研究 d
		組織経営研究 e (公共政策論)	国際関係研究 e (国際経済研究)	情報科学研究 e	(スクール(学校) ソーシャルワーク論)
					地域共創研究 e
発展科目		スクール(学校) ソーシャルワーク演習* スクール(学校) ソーシャルワーク実習指導* スクール(学校) ソーシャルワーク実習* プロジェクト a(パートナーシップに基づく地域課題解決の推進) プロジェクト b プロジェクト c プロジェクト d 特別セミナー a 特別セミナー b(庄内地域の課題解決と企業経営～事業承継を考える～) 特別セミナー c 特別セミナー d			
自由科目		教育行政* 生徒指導論* 進路指導論* 教育心理学* 教育相談の理論と方法* 精神保健学* 児童・家庭福祉論* 公的扶助論* 教育学*			
演習科目		演習Ⅰ 演習(副) 演習Ⅱ			
		修士論文指導Ⅰ 修士論文指導Ⅱ			

② 博士後期課程

科目区分	科目名
公益学研究科目	公益学研究 a 公益学研究 b(公共経済学) 公益学研究 c 公益学研究 d(社会政策) 公益学研究 e(自治体マネジメント) 公益学研究 f
キャリア科目	キャリアディベロップメント
研究指導科目	研究指導Ⅰ 研究指導Ⅱ 研究指導Ⅲ 博士論文指導Ⅰ 博士論文指導Ⅱ 博士論文指導Ⅲ

(4) インターンシップの実施状況

令和 6 年度は春学期、秋学期とも「課題挑戦型」と「一般」の 2 種類のインターンシップを実施した。「課題挑戦型」は企業や地方自治体が提示した課題の解決策づくりにチーム単位で取り組んだ。「一般」は各学生が企業、自治体などで 5 日間程度の実習を行った。

① 課題挑戦型インターンシップ 実施状況

No.	業種	課題提示機関	課題数	チーム数	実習生人数
1	官公庁	酒田市役所	3	3	10
2	その他	山形遊佐洋上風力合同会社	1	1	2
合計			4	4	12

② 一般インターンシップ 実施状況

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
1	公務	山形県庁	2
2		山形県置賜総合支庁	3
3		山形県最上総合支庁	3
4		米沢市役所	1
5		長井市役所	1
6		高畠町役場	1
7		飯豊町役場	1
8		庄内町役場	1
9		遊佐町役場	1
10		舟形町役場	2
11		由利本荘市役所	1
12		相馬市役所	1
13		酒田警察署	1
14	製造業	東北日本ハム株式会社	3
15	情報通信業	キューブワン情報株式会社	2
16		株式会社オリーブ	1
17		株式会社ニューメディア	1
18	金融業	SMBC日興証券株式会社 山形支店	2
19	建設業	株式会社近江建設	1
20		相田建設株式会社	1
21		株式会社みなと	1
22	内装業・小売業	株式会社ブルー	1
23	卸売業・小売業	山形パナソニック株式会社	1
24		ヤマリョー株式会社	1
25		株式会社八文字屋 みずほ八文字屋	2
26		株式会社ダイユーエイト 酒田店	3
27		ゼビオ株式会社 スーパースポーツゼビオ ル・パークみかわ店	6
28		ネットヨタ株式会社	1
29		トヨタカローラ株式会社	2
30		株式会社イデアル	1
31	福祉	社会福祉法人米沢仏教興道会	1
32		社会福祉法人光風会 特別養護老人ホーム芙蓉荘	1
33		学校法人天真林昌学園 認定こども園天真幼稚園	3
34		イデアルファーロ株式会社	1
35		株式会社Forest	2

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
36	サービス業	株式会社アークベル／株式会社雅裳苑	3
37		株式会社庄交コーポレーション 東京第一ホテル鶴岡	3
38		株式会社月見 月のホテル	4
39		株式会社旅館古窯	3
40		山交観光株式会社	1
41		株式会社秋田ふるさと村	1
42		しらかみ十二湖株式会社	1
43		有限会社鶴岡ゴルフガーデン	4
44	その他	米沢商工会議所	1
45		東根市公益文化施設まなびあテラス	2
46		認定非営利活動法人山形国際ドキュメンタリー映画祭	2
47		公益財団法人山形県国際交流協会	1
48		公益財団法人出羽庄内国際交流財団	1
49		公益財団法人秋田県国際交流協会	2
50		庄内観光コンベンション協会	1
51		一般社団法人DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー	1
52		一般社団法人酒田観光物産協会	1
53		一般財団法人酒田DMO	3
54		株式会社庄交コーポレーション 庄内観光物産館	1
55		株式会社庄交コーポレーション 航空事業部	2
56		株式会社庄交コーポレーション 庄交サービス事業部	1
57		株式会社モンテディオ山形	1
58		伊藤公認会計士事務所	1
合計			96

① 公益学部

[illegible][illegible]

ハ 令和6年度A1クォーター オフィスアワー日程

[illegible]

二 令和6年度A2クォーター オフィスアワー日程

[illegible]

② 公益学研究科
イ 専任教員

	鶴岡キャンパス	酒田キャンパス
日時	担当科目の 授業開始前の 10 分 授業終了後の 10 分	学部のオフィスアワーを参照
場所	授業の教室または講師室	

ロ 非常勤講師

	鶴岡キャンパス
日時	担当科目の 授業開始前の 10 分 授業終了後の 10 分
場所	授業の教室または講師室

(6) 研究実績報告

氏 名	神 田 直 弥					
職位・コース	教授・メディア情報コース					
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順に 本人も含め記入)	開催 形態
総説・解説等						
1	児童生徒に対する効果的 な自転車交通安全教育に 向けて	IATSS Review	Vol. 49, No. 1, 100-101	2024	神田直弥	
国際会議発表論文等						
1	The Impact of Road Paving Irregularities on Road Users - Evaluation of the Validity of Road Surface Soundness Diagnosis Criteria in Japan -	22nd Triennial Congress of the International Ergonomics Association (IEA)		2024	Takashi Miura, Naoya Kanda	
2	Effectiveness of Metacognition-Focused Bicycle Safety Education for Junior High School Student	12th International Cycling Safety Conference		2024	Naoya Kanda, Kazuhisa Ogawa, Yusuke Okuyama	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	路面性状が道路利用者に 及ぼす影響 ー舗装修繕前後の比較ー	日本人間工学会第65回大 会	60巻 Supplement 号 2E3-3	2024	三浦貴史・神田直弥	
2	適切な健康管理が支える 持続的かつ安全な労働環 境	産業保健人間工学会第 29 回大会基調講演		2024	神田直弥	
3	緑内障の運転への影響の 理解と視覚障害を補償す る運転の学習プログラム 開発	日本交通心理士会 第 21 回ぐんま大会		2024	加藤裕哉・奥山祐輔・神 田直弥	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
・日本交通心理学会 会員 ・日本人間工学会 会員 ・日本心理学会 会員 ・日本ブラントヒューマンファクター学会 会員 ・Human Factors and Ergonomics Society Full Member ・日本交通科学学会 会員 ・航空運航システム研究会 会員 ・国際交通安全学会 会員						
②各種学会における活動状況						
日本交通心理学会編集委員 (平成26年～) 日本交通心理学会運営委員 (平成29年～) 日本人間工学会編集委員 (平成30年～令和4年)						
3-3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有 無	種別: 基盤C 不採択		円		
		種別: 基盤C 分担 採択		10000 円		
その他外 部資金	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	マエタテクノロジーリサーチファンド令和6 年度助成		500000 円		

4. その他	
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 電動キックボード利用時の事故防止に向けた教育プログラム開発に向け、名古屋工業大学の鈴弘司先生をリーダーとするプロジェクトに参加した。 運転中の健康起因事故防止に向けた教育プログラム開発に向け、順天堂大学の谷川武先生をリーダーとするプロジェクトに参加し、教育プログラム開発を開発し日本自動車会館で実践した。教育プログラムは教材とシナリオを整理し、今年度中に国際交通安全学会のホームページに公開する。

氏 名		三木 潤一				
職位・コース		教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	「地方都市におけるコンパクトシティの可能性 —山形県酒田市における調査結果—」	経済政策ジャーナル (日本経済政策学会)	第21巻第2号 (通巻第91号)	2025年 (令和7年) 3月 (発行予定)	池田晃彦・川崎雄二郎・ 三木潤一	
紀要等						
1	「令和6年度酒田市 市民アンケート調査分析 業務 報告書」	東北公益文科大学 公共経営研究所	全223頁	2024年 (令和6年) 10月提出	東北公益文科大学 公共 経営研究所 研究所員： 三木潤一（所長）・神田 直弥・小野英一・白畑真 由美・小関久恵・樋口恵 佳・小野敦・永田斉	
2	「令和6年度 檜葉町移住 者実態調査研究」	調査研究業務受託（檜葉 町）報告書	2025年2月末 時点で未定	2025年 (令和7年) 3月（予定）	三木潤一・小嶋健太・ 川崎雄二郎	
2	「令和6年度 酒田市観光 に関する調査研究」	調査研究業務受託（酒田 市）報告書	2025年2月末 時点で未定	2025年 (令和7年) 3月（予定）	三木潤一・小嶋健太・ 川崎雄二郎	
国際会議発表論文等						
1	“Constraint satisfaction approach to optimizing emergency service allocation ”	Workshop on Computation: Theory and Practice 2024 the University of the Philippines Manila		Norvember 2024	Shigeki Hagihara, Jun'ichi Miki and Yujiro Kawasaki	対面
2	“Bargaining and Hold-up Concerns in Contracting out a Municipal Service ”	15th Australasian Public Choice Conference Gardens Point Campus Queensland University of Technology		December 2024	Hiroaki Ino, Norimichi Matsueda, and Jun'ichi Miki	対面
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	救急隊配置最適化のため の出動モデルの開発と検 討	2024年度日本オペレー ションズリサーチ学会 秋季研究発表会 (南山大学)		2024年 (令和6年) 9月	川崎雄二郎・萩原茂樹・ 三木潤一	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本財政学会 日本地方財政学会 廃棄物資源循環学会 日本経済学会 CIPFA（英国勅許公共財務会計協会）						
3. 研究資金獲得状況						
科 研 費 関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	無	種別： 令和3年度（2021年度）基盤研究 (C)（一般）採択（研究代表 者）	4, 160, 000 内2024年度配分額 0 円 (期間延長)			
		種別： 令和5年度（2023年度）基盤研究 (C)（一般）採択（研究分担 者）	4, 550, 000 内2024年度配分額 150, 000 円			
受 託 研 究 関 係	件数	契約先名		契約金額		
	4 件	酒田市（施策外部評価関係）		1, 146, 200 円		
		酒田市（市民アンケート関係）		1, 206, 630 円		
		酒田市（観光関係）		400, 000 円		
		檜葉町（移住関係）		2, 000, 000 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 本年度で7年目となる調査研究業務受託（酒田市）「令和6年度酒田市観光に関する調査研究」に研究代表者として取り組み、令和7年度以降も継続の予定である。本件のアンケート調査は通年化することが決まった。 本年度から、「檜葉町移住者実態調査業務」を受託し、檜葉町における移住者の実態を調査分析し、UIJター ン促進に向けた効果的な移住支援策の検討を行うこととなった。この目的を達成するため、2024年度は、既存資 料の分析とヒアリング調査の実施により仮説を設定し、その仮説を裏付けるためのアンケート調査の設計を行っ た。なお、アンケート調査は檜葉町が2025年度に全世帯に対し実施する予定である。 令和2年度から継続して、産学連携で株式会社丸高と共同研究「酒田市におけるコンパクトシティ化の検討」 に研究代表者として取り組み、研究成果をディスカッションペーパー（京都産業大学大学院経済学研究科）とし て公表し、ディスカッションペーパーをベースとして学会誌に査読論文として投稿中であったが、掲載が決定し た。					

氏 名		武田 真理子				
職位・コース		教授・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年（元号併記）	発表者名（共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入）	開催 形態
著書（翻訳含む）及び辞書等						
1	『世界の社会福祉年鑑2024』 「ニュージーランド」	旬報社	pp. 211-231	2024年11月	武田真理子（宇佐見耕一、他 編）	
2	『オセアニア文化事典』 「ニュージーランド」	丸善出版	pp. 696-697	2024年10月	武田真理子（オセアニア文化 事典編集委員会編）	
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	「パンデミック禍における ニュージーランドの生活支援 サービスのコーディネーショ ンの分析」	『日本ニュージーランド学会誌』	第31巻、pp. 15-30	2024年	武田真理子	
査読無し学術論文等						
1	「ニュージーランドから考える 公益社会の実現」	『日本ニュージーランド学会誌』	第31巻、pp. 43-46	2024年	武田真理子	
口頭発表等（招待講演・学会発表等）						
1	「ニュージーランドの児童福祉 とファミリーグループカン ファレンス」	日本ニュージーランド学会 第31 回研究大会・総会 公開シンポジ ウム「ケアを中心とした社会の構 想に向けて」	発表者	2024年6月15日	武田真理子	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本ニュージーランド学会、社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会						
②各種学会における活動状況						
日本ニュージーランド学会の会長として、理事会の開催をはじめとする学会運営及び研究会の開催、ニュージーランド研究の発信に貢献した。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	○有・無	種別： 基盤研究C（R6年度～R9年度）		1,600,000 円		
		種別：		円		
その他外部資金	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	日本財団「令和6年7月大雨被害に関する支援活動」		518,478 円		
				円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 「地域共創コーディネーター養成プログラム」の評価及び地域人材育成の方法に関する研究については、同プログラム運営委員会の協力を得て、これまでの9年間の実績評価と分析を行い、地域人材育成の知見を発信するための書籍の執筆と編集作業を進めた。（2025年4月刊行予定。）同プログラムの研究及び人材育成の成果は、庄内南部定住自立圏合同研修、鶴岡市立朝日中学校「地域語り合い」、その他の地域課題解決の実践に現れている。また、その一端が総務省「地域づくり人材の養成に関する調査研究会」報告書に掲載された。					

氏 名		梅津 千恵子				
職位・コース		教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Regional efficiency and total factor productivity change for small and medium scale sorghum production in Zambia: A slacks-based measure and Malmquist index approach	World Development Sustainability	4: 100140 https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2772655X24000181	2024	Obed Chanda, Chieko Umetsu	
2	Do Zambian farmers manage climate risks?	Applied Economic Perspectives and Policy	13499 https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/aep.13499	2025	Soyoka Okamura, Ken Miura, Chieko Umetsu	
国際会議発表論文等						
1	Aromatic Rice Production and Sustainability in the Vietnamese Mekong Delta: A Slack-Based Measure from Data Envelopment Analysis	32nd International Conference of Agricultural Economists	https://ageconsearch.umn.edu/record/344329?v=pdf	ICAE 2024, August 2-7, New Delhi, India	Le Canh Bich Tho, Chieko Umetsu	対面
2	Do Zambian farmers manage climate risks?	JST Sakura Science Program, Graduate School of Science and Technology, Hirosaki University		2024/9/9、Hirosaki University	Soyoka, Okamura, Ken Miura, Chieko Umetsu	オンライン
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	ザンビア南部州農村部における栄養摂取—2023年度の事例を中心に	日本沙漠学会2024年第35回学術大会		2024年5月11-12日 文教大学東京あだちキャンパス	石本雄大・宮寄英寿・John BANDA・梅津千恵子	対面
2	ザンビア・ルサカ州でのソルガム栽培に適した施肥管理と改良品種の選定	日本国際地域開発学会2024年度春季大会		2024年6月29日、日大湘南キャンパス	宮寄英寿・John Banda・石本雄大・梅津千恵子	対面
3	ザンビア・ルサカ州での早生トウモロコシ栽培に適した施肥管理と品種の選定	日本国際地域開発学会2024年度秋季大会個別報告		2024年11月30日、弘前大学	宮寄英寿・John Banda・Oliver Lindunda Daka・石本雄大・梅津千恵子	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本農業経済学会、環境経済政策学会、日本国際地域開発学会、国際開発学会、農業農村工学会、International Association for Agricultural Economists (IAAE)、International Association for the Study of the Commons (IASC)						
②各種学会における活動状況						
環境経済政策学会監事 (2024-現在) Environmental Economics and Policy Studies、編集委員(2016-) 2024年度環境三学会合同シンポジウム「Nature Positive: 実現に向けた方策の検討」ファシリテーター、2024年7月6日(土) オンライン開催 https://jaelp.smoosy.atlas.jp/ja/notices/2238 日本国際地域開発学会理事 (2024-現在)						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・無	種別： 基盤研究 (A) (代表) 2020-2025		(R6年度 430万円) 分担 500,000 円		
		種別： 基盤研究 (B) (分担) 2021-2025		(R6年度 260万円) 分担 300,000 円		
		種別： 国際共同研究強化 (B) (分担) 2021-2026		(R6年度 280万円) 分担 0 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 庄内地域の上水道組織再編に関する研究の準備を行った。酒田市内産直施設の改善に向けた提案を演習bで行った。					

氏 名		温井 亨				
職位・コース		教授 観光・まちづくりコース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	水帳と水帳絵図を用いた近世都市の敷地変遷に関する研究 その2：湊町酒田給人町における文化14年から明治2年まで	日本建築学会大会学術講演梗概集	建築歴史・意匠551-552	2024年	温井 亨	
総説・解説等						
1	東北支部立ち上げの頃、支部大会から見る東北支部の歩み、他	日本造園学会100周年記念誌本誌	3ページ弱	刊行準備中	温井 亨	
2	玉川寺	日本造園学会ランドスケープ遺産	学会ホームページに掲載	準備中	温井 亨	
3	壊してしまってもよいか鶴岡倉庫	荘内日報	2632字＋写真	2024. 10. 27	温井 亨	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	水帳と水帳絵図を用いた近世都市の敷地変遷に関する研究 その2：湊町酒田給人町における文化14年から明治2年まで	日本建築学会大会学術講演	明治大学	2024年	温井 亨	対面
2	生き生きとした暮らしが在り続けるために	清川まちづくりセンター総会記念講演	清川まちづくりセンター	2024年	温井 亨	対面
3	やまがた景観物語庄内イベントトークセッション話者	山形県県土利用政策課	公益ホール	2025年	温井 亨	対面
4	初代町長渋谷八三郎の庭園	合併70周年記念ゆざ学講座 町村合併前のゆざを振り返る	雄佐町生涯学習センター	2024年	温井 亨	対面
5	残したい庄内の建築と風景	飽海地域史研究会通史講座・酒田民俗学会共催	酒田市文化センター	2025年	温井 亨	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本造園学会、日本建築学会、日本都市計画学会、和食文化学会、都市史学会、庄内町郷土史研究会、飽海地域史研究会						
②各種学会における活動状況						
●日本造園学会6/15－16全国大会（名古屋市）参加：風景計画研究推進委員会委員（6/16ミニフォーラム参加、11月メール会議）。東北支部運営常任委員、東北支部運営員会（メール会議2回、対面会議1回参加）、東北支部大会参加（9/7-8岩手県一関市）、3/24庭園見学会参加。ランドスケープ遺産インベントリー委員（ZOOM会議参加、玉川寺選定執筆、100周年記念誌東北支部編集幹事）。●日本建築学会：9/27-30全国大会（東京都、明治大学）の学術講演会で発表。●都市史学会：大会参加（12/7-8長野県阿智村公民館）、監事就任。●庄内町郷土史研究会：総会参加（3月）●飽海地域史研究会：古文書研究会（週1回）参加。通史講座講師2/15、企画講師招聘3/1						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	無		種別： 基盤研究（C） 期間延長		650,000 円	
			種別：		（分担） 円	

氏 名		澤邊 みさ子				
職位・コース		教授・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	インクルージョン社会	日本ニュージーランド学会第31回 研究大会 公開シンポジウム		令和6年6月15日	澤邊みさ子	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会、日本ニュージーランド学会、日本職業リハビリテーション学会、 北ヨーロッパ学会						
②各種学会における活動状況						
日本ニュージーランド学会： 事務局長（2018年6月～）、会計（2021年6月～） 日本公益学会： 事務局長（2022年6月～）						
3. その他						
地域課題関係		(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市飛島における防災対策検討のための避難行動調査				

氏 名		大山 慎一	
職位・コース		教授・国際教養コース	
1. 学会活動に関する業績			
①所属学会等			
東北英語教育学会、全国英語教育学会、日本質的心理学会、日本教育学会			
②各種学会における活動状況			
東北英語教育学会第42回山形研究大会（R6年6/29-30、山形大学）、日本質的心理学会第21回大会（R6年10/19-20、成城大学）に 参加。			
2. 研究資金獲得状況			
科研費関 係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ☒ 無 ☐	種別：	円
		種別：	円

氏 名		阿部 公一				
職位・コース		教授・政策コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	大学初年次生に対する キャリア教育の方向性と 授業体系に関する考察	東北公益文科大学 総合研究論集	第49号 3～22頁	2025年 (令和7年)	阿部公一	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本年金学会、日本公民教育学会						
②各種学会における活動状況						
日本年金学会の学会開催曜日が平日のため、授業を優先し、学会研究発表会には参加することができなかった。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・無	種別：		円		
		種別：		円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 山形県への若者定着を目的に、「やまがた就職促進奨学金返還支援事業」を若者に伝えるための広報教育動画として、ゼミの活動を通じて、「山形県内の企業に就職しよう！」を3本制作した。現在、ゼミ生が運営する「@abeseminar-22」のアカウントから視聴することができる。					

氏 名		吳 衛峰				
職位・コース		教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	『近代的日本人の中国紀行研究』 「明治時期日本人の中国印象」	北京：商務印書館	331-353頁	2024年10月 (令和6年)	王成、張明傑、吳衛峰等、論文は単著	
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	満洲事変前の満洲俳句	植民地文化学会	23号、 107-116頁	2025年3月 (令和7年)	単著	
紀要等						
1	高浜虚子の「熱帯季題論」について—『改訂 新歳時記』との関連を中心に—	東北公益文科大学総合研究 論集	48号、 (1)-(16)頁	2024年8月 (令和6年)	単著	
総説・解説等						
1	『比較文学比較文化ハンドブック』ウェブサイト部分「中国：21世紀における比較文学中国学派は可能か」	東京大学出版社	今橋映子・井上健監修・編『比較文学比較文化ハンドブック第四部「専門研究への迫るべ：6 各国の比較文学史」ウェブサイト部分、233頁の「著者一覧」に名前が掲載されている。 (http://www.todai-hikaku.org/handbook/index.html/)	2024年8月 (令和6年)	今橋映子、井上健、川本皓嗣、吳衛峰等	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	満洲俳句の発展と満洲季語についての試論	植民地文化学会年会		2024年7月 (令和6年) 於早稲田大学	単独	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
東大比較文学會、日本比較文学会、東方学会、日本中国学会、日本近代文学会、植民地文化学会						
②各種学会における活動状況						
総説の『比較文学比較文化ハンドブック』は東大比較文学會が編集したものと見てよいので、会員として参加したということになる。令和5年度から学会の重要なプロジェクトとして計画され、実施されたものである。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別：		円	
			種別：		円	

氏 名		呉 尚 浩				
職位・コース		教授・観光まちづくりコース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
総説・解説等						
1	『加盟大学「防災・減災」 研究事例集』	「私大連フォーラム2024 『これからの時代に向けた 私立大学の未来型防災教育 を考える～大学連携、地域 連携に基づく安全社会の実 現を目指して～』」一般社 団法人日本私立大学連盟	P.13	2024年12月	呉尚浩・澤邊みさ子・小関 久恵	
2	「松くい虫被害対策に係る 庄内海岸林のゾーニングに ついて提案書」	出羽庄内公益の森づくりを 考える会	全37ページ	2024年11月	出羽庄内公益の森づくりを 考える会・情報共有システ ム構築・ゾーニング再検討 部会（会会長、部会・提案 書作成メンバー）	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等 日本環境社会学会 日本公益学会 日本海岸林学会 日本沿岸域学会 地区防災計画学会 庄内・社会基盤技術フォーラム（土 木学会認定CPDプログラム） 東北ジオパーク学術研究者会議						
②各種学会における活動状況						
○ 委員 ・日本海岸林学会・評議員 ・庄内社会基盤技術フォーラム・運営委員						
○ 学会・研究会参加 ・日本海岸林学会米子大会（鳥取）参加・グループセッション・ファシリテーター（2024.10.26-27） ・地区防災計画学会「第11回大会」オンライン開催・参加（2025.3.1）						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別：		円	
			種別：		円	
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)					
	＜とびしま未来研究所における研究活動＞ ○ 海ごみ問題解決へ向けての普及啓発と発生抑制に関する研究 ・庄内海岸における漂着物モニタリング調査の分析にもとづく効果的な人的資源配分とネットワーキングについての研究 ⇒「美しいやまがたの海プラットフォーム」において、本テーマについて調査研究を推進。回収実施判定調査を実施し、その結果を もとに3/5「海岸漂着物対策検討会（ワークショップ）」を開催（とびしま未来研究所、共創センター 防災・環境部会共催）し、回 収困難地域の回収を推進するための方策を検討。 ・「第3次山形県循環型社会形成推進計画」のアクションプログラム策定に関する研究 ⇒SDGs科目「海ごみ問題と循環型社会のデザイン」（秋学期）と連動して実施。山形県循環型社会推進課、庄内総合支庁環境課、村 山総合支庁環境課、最上総合支庁環境課、NPOパートナーシップ、鳥海山・飛鳥ジオガイドのメンバーを対象に報告会を実施し、ア クションプログラム案を報告（海岸部だけではなく、内陸部の担当課の参加があった）。 ・海岸漂着物対策における地域協議会と地域計画のあり方に関する研究（英文雑誌への投稿） ⇒投稿準備中 ○ 朝日新聞連載記念・とびしま関係者交流会の開催4/20（TOCHiTO交流棟、約30名参加）					
	＜地域共創センター防災・環境部会に関連した研究・調査活動（プロジェクト型応用演習（地区防災）と連動して実施）＞ ○ 飛鳥における防災・減災地域づくりの推進に関する調査研究（能登半島地震における避難行動に関するヒアリング調査を実施／ とびしま未来研究所／澤邊・小関、東北工業大学岸本誠司研究室と共同研究） →プロジェクト型応用演習（地区防災）と連動して、住民・関係者ヒアリング調査を実施。酒田市危機管理課や鳥海山・飛鳥ジオガ イドなどのメンバーを対象に報告会を実施し、調査内容と提案を報告。 →能登半島地震における避難行動に関するヒアリング調査は来年度も継続実施、論文投稿準備中。					
	＜庄内海岸林保全に関する研究活動＞ ○ 庄内海岸松原再生計画の効果的な推進体制に関する研究（日本海岸林学会・学会誌への投稿） ・広葉樹を導入した海岸林保全のゾーニングに関する研究（出羽庄内公益の森づくりを考える会と連携） →出羽庄内公益の森づくりを考える会「松くい虫被害対策に係る庄内海岸林のゾーニングについて提案書」を作成（11月）、情報共 有システム構築・ゾーニング再検討部会にて執筆（会長、部会・作成メンバー） →その成果を海岸林学会誌に投稿準備中。 ・GISを活用した庄内海岸の森林管理に関する調査研究（山大学部・山形県森林研究研修センター、森林総合研究所、朝日航洋 （株）等との共同研究） →継続実施。 ○ 太平洋沿岸の海岸防災林復興状況の調査 ・11/21オイスカ「東日本大震災復興海岸林再生プロジェクト」視察の実施（宮城県名取市）。					
＜生き物とからだにやさしい農と食のあり方についての研究＞ ○ 飯森山地区水田におけるヨーロッパカブトエビ・カイエビ・タマカイエビの保全に関する研究（カブトエビ研究会） → 例年通り、5月末にカブトエビ生息調査を実施。						

氏 名		松田 憲				
職位・コース		教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順に 本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	速読における「速さ」と「読 解効率」の可視化と比較が英 文読解に及ぼす効果	比較文化研究	No. 157 (59-69)	2024(令和6)年	松田 憲	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本比較文化学会、大学英語教育学会、全国語学教育学会、外国語教育メディア学会 Teachers of English to Speakers of Other Languages International Association						
②各種学会における活動状況						
学会や研究会等に参加した。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別：		円	
			種別：		円	

氏 名		古山 隆				
職位・コース		教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順に 本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Investigation of Hydrogen Generation through Wet Grinding of Aluminum and Magnesium	International Conference on Advanced Materials, Energy and Environment (ICMEE202)	p. 50-59	2024	T. Furuyama, G. Dodbiba	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	Investigation of Hydrogen Generation through Wet Grinding of Aluminum and Magnesium	The 4th International Conference on Materials, Energy and Environment (IMEE' 24)		2024	T. Furuyama, G. Dodbiba	
2	Transition of Automobile Rec	The 4th International Conference on Materials, Energy and Environment (IMEE' 24)		2024	T. Furuyama,	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
資源・素材学会、環境資源工学会、自動車技術会、日本鉱業史研究会						
②各種学会における活動状況						
環境資源工学会：評議員 自動車技術会リサイクル技術部門委員会：幹事						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有		種別： 基盤研究 (C)		0 円	
			種別：		円	

氏 名	広瀬 雄二					
職位・コース	教授・メディア情報コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)	開催形態
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	楽曲のイメージ形成を支援するシステムの提案	情報処理学会全国大会	第87回	2025 (R7)-03-13	滝澤壮悦, 広瀬雄二	対面
2	ゲーミフィケーションを用いた緊急設備の記憶強化システムの提案	情報処理学会全国大会	第87回	2025 (R7)-03-14	榊村美結, 広瀬雄二	対面
3	観光誘致と分散を目的としたゲーミフィケーションの提案	情報処理学会全国大会	第87回	2025 (R7)-03-15	沼倉結磨, 広瀬雄二	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
情報処理学会 デジタルアーカイブ学会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	無	種別： 種別：		円 円		
受託研究関係	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	日向ふるさとづくり協議会		148500 円		
				円		
受託事業関係	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	科学技術振興機構(JST)ジュニアドクター育成塾実施責任者		10000000 円		
				円		
民間機関等共同研究	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	さくらインターネット		758400 円		
				円		

氏 名	門松 秀樹					
職位・コース	教授 ・ 政策コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)	開催形態
紀要等						
1	「米軍記録に見る『酒田空襲』」	『東北公益文科大学総合研究論集』	第48号 (23 - 58頁)	2024年	門松 秀樹	
総説・解説等						
1	『一冊でわかる明治時代』	河出書房新社		2024年	「協力 門松秀樹」(監修協力として監修業務を担当)	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本政治学会、日本法政学会、明治維新史学会、時代考証学会、慶應法学会						
②各種学会における活動状況						
時代考証学会運営委員						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・ 無	種別： 種別：		円 円		

氏 名		森 元 拓				
職位・コース		教授・政策コース				
3－1．研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	法の理念と現実——酒匂一郎 先生古稀記念論文集（共著）	成文堂		2024年	森元拓（担当:分担執筆，範 囲:誰が論争を仕掛けたのか— 天皇機関説論争の端緒をめぐ る—考察—）	
2	法学者たちと出版——戦後日 本法学の知的プラットフォーム をたどる（共著）	弘文堂		2024年	森元拓（担当:分担執筆，範 囲:誰が論争を仕掛けたのか— 天皇機関説論争の端緒をめぐ る—考察—）	
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	法の継受と法思想の継受—— 継受における「国体」と日本 法理	法哲学年報	2023年号	2024年		
総説・解説等						
1	法哲学（学界回顧）	法律時報	96巻13号	2024年		
2．学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本法哲学会、IVR（国際法社会哲学）学会、法制史学会、大学教育学会、北大法理論研究会、法理学研究会						
3．研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有	種別： 不採択		円		
		種別：		円		

氏 名		青木 孝弘				
職位・コース		教授 ・ 観光まちづくりコース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年（元号併記）	発表者名（共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入）	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	「地域社会における公共施設の多面的価値—長井市遊びと学びの交流施設「くるんと」の事例から—」	東北経済学会誌	第78巻, 1号, 1-11頁	2025年 （令和7年）	馬場英朗・青木孝弘	
紀要等						
1	「アントレプレナーシップ教育に関する一考察—メソッド別による効果の検証—」	東北公益文科大学総合研究論集	第48号, 3-22頁	2024年 （令和6年）	青木孝弘	
口頭発表等（招待講演・学会発表等）						
1	「地域社会における公共施設の多面的価値—長井市遊びと学びの交流施設「くるんと」の事例から—」	第78回 東北経済学会 於：東北大学		2024年 （令和6年）	青木孝弘	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本地域政策学会、東北経済学会、日本生産管理学会、日本NPO学会、政府会計学会						
②各種学会における活動状況						
日本地域政策学会では評議員として学会の適正な運営を主導した。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別： 基盤研究（c）		申請中 円	
			種別： 基盤研究（c）		（分担）280,000 円	
4. その他						
地域課題関係		(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市（商工港湾課）および酒田東高等学校とアントレプレナーシップ育成の学習法と評価手法に関する共同研究の可能性について検討を行い、次年度実施する方向で調整を進めている。 ・観光振興をテーマに、観光まちづくりコース教員と荘内銀行地方創生室との情報交換会を行い、今後具体的な連携について検討することになった。				

氏 名		山本 裕樹				
職位・コース		教授・メディア情報コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	人生いろいろ、 望遠鏡もいろいろーフー	富山県立大学紀要	第35巻 (3月発行予定)	2025年 (令和7年)	戸田晃一、櫛田淳子、 松本榮次、中西裕之、 上田晴彦、山本裕樹	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	いつでも・どこでも・だれでも天 体観測～インターネット望遠鏡の 体験～	学都「仙台・宮城」サイエンス・ デイ2024		2024年 (令和6年)	インターネット望遠鏡プロジェク ト、山形県立致道館高等学校	対面
2	“いつでも・どこでも・だれで も” 天体観測	ダ・ヴィンチ祭2024		2024年 (令和6年)	山本裕樹	対面
3	天文教育における「インターネッ ト望遠鏡」の活動について	日本物理学会第79 回年次大会		2024年 (令和6年)	戸田晃一、上田晴彦、櫛田淳子、 小林宏充、迫田誠治、澤渡信之、 高田淑子、中西裕之、中村厚、松 本榮次、山本裕樹、吉田宏	対面
4	インターネット望遠鏡の システムと操作について	日本物理学会第79 回年次大会		2024年 (令和6年)	山本裕樹、上田晴彦、櫛田淳子、 小林宏充、迫田誠治、澤渡信之、 高田淑子、戸田晃一、中西裕之、 中村厚、松本榮次、吉田宏	対面
5	いつでも・どこでも・だれでも天 体観測	2024「青少年のための科学の祭 典」東京大会 in 小金井		2024年 (令和6年)	インターネット望遠鏡プロジェク ト	対面
6	いつでも・どこでも・だれでも天 体観測	鶴岡サイエンスパークまつり2024		2024年 (令和6年)	インターネット望遠鏡プロジェク ト、山形県立致道館高等学校	対面
7	山形県立致道館高校における取り 組みとイベント参加報告	第14 回慶應義塾大学インター ネット望遠鏡プロジェクト・シン ポジウム		2024年 (令和6年)	山本裕樹	対面
8	インターネット望遠鏡プロジェク トの活動について	2024年度日本天文教育普及研究会 東北支部研究会		2025年 (令和7年)	山本裕樹	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本物理学会、日本天文教育普及研究会						
②各種学会における活動状況						
口頭発表を行った						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別： 基盤研究（C）		1100000 円	
			種別： 基盤研究（C）（分担）		100000 円	
4. その他						
地域課題関係		(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市デジタル人材育成委託事業「スーパームーン観望会」を開催(公益大、2024年10月17日)				

氏 名		小野 英一				
職位・コース		教授・政策コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年（元号併記）	発表者名（共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入）	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	杉を活かした地域振興に ついて―取組事例報告と 「公益学」に依拠した考 察―	地域活性研究 （地域活性学会）	201-210頁	2024年 （令和6年）	小野英一	
査読無し学術論文等						
1	北海道名寄市の「利雪親 雪まちづくり」に関する ―考察―「公益のまちづ くり」を分析枠組みとし て―	第36回ゆきみらい研究発 表会 （国土交通省北陸地方整 備局）	1-6頁	2025年 （令和7年）	小野英一	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
地方行政実務学会、日本公益学会、日本地域政策学会、地域活性学会、日本行政学会、日本公共政策学会、自治体学会、 非営利法人研究学会						
②各種学会における活動状況						
日本公益学会：理事						
3. 研究資金獲得状況						
受託研究 関係	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	令和6年度酒田市民アンケート調査分析 業務報告書（酒田市から東北公益文科大学 公共経営研究所への委託調査，研究所員と して分担執筆）		933300 円 円		
受託事業 関係	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	令和6年度酒田市総合計画（後期計画）施 策に係る外部評価（酒田市から東北公益文 科大学公共経営研究所への依頼事業，研究 所員として分担執筆）		1042000 円 円		

氏 名		加藤 良浩				
職位・コース		准教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年（元号併記）	発表者名（共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入）	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	『善良な田舎の人たち』 ―無意識のうちに囚われる 権威の罠	日本フラナリー・ オコナー協会	フラナリー・オコ ナー研究 第4号	2025年 令和7年2月	加藤良浩	
口頭発表等（招待講演・学会発表等）						
1	“Dry September”における 比喻表現によってもたらさ れる作品の意味をめぐって	日本ウィリアム・ フォークナー協会	第27回全国大会 於法政大学	2024年 令和6年9月	加藤良浩	
2	「高く昇って一点へ」における 理念の現実の出来事への投影	欧米言語文化学会	第16回年次大会 於日本大学	2024年 令和6年9月	加藤良浩	
3－2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等（必須） 日本英文学会、日本アメリカ文学会、日本ウィリアム・フォークナー協会、日本フラナリー・オコナー協会、 欧米言語文化学会、新英米文学会、早稲田大学英文学会、早稲田大学英語英文学会、20世紀英文学研究会						
②各種学会における活動状況 欧米言語文化学会 学会誌投稿論文査読2本						
3－3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・ ☒ 無		種別：		円	
			種別：		円	

氏 名		白畑 真由美				
職位・コース		准教授・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年（元号併記）	発表者名（共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入）	開催 形態
口頭発表等（招待講演・学会発表等）						
1	第22回庄内高齢者ケア学会				ポスター発表	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等（必須） 日本ケアマネジメント学会、日本子ども虐待防止学会、日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士会、日本後任心理師・臨床心理士会、日本ス クールソーシャルワーク協会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・ ☒ 無		種別：		円	
			種別：		円	

氏 名	渡辺 暁雄		
職位・コース	准教授・観光まちづくりコース		
1. 学会活動に関する業績			
①所属学会等			
日本社会学会，日本生活学会，社会文化学会，日本公益学会			
②各種学会における活動状況			
大会・研究会・部会・特別企画等へのオンライン参加，投稿論文の査読等。			
2. 研究資金獲得状況			
科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別：	円
		種別：	円
3. その他			
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)		
	加茂グランドデザイン検討推進委員会に所属し，加茂の地域づくり活動総合計画（加茂地域ビジョン）に策定に協力。		

氏 名	東江 日出郎					
職位・コース	准教授・国際教養コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)	開催形態
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「マルコス政権のアメリカへの再接近—その背景と展開」	日本臨床政治学会 2024年度東京研究大会		2024年4月27日		
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本人間の安全保障学会、東アジア地域共同体・沖縄(琉球)研究会、日本平和学会、日本開発学会、日本臨床政治学会、						
②各種学会における活動状況						
今年は日本臨床政治学会で学会発表を行った。また、人間の安全保障学会では、監事を継続して勤めている。東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会では、事務局長を勤めている。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額			
	有・無	種別： 一般C	500万 円			
		種別：	円			
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)					
	酒田西高校からの依頼で「地域における多文化共生・国際化」のテーマで3回、多文化共生等の授業等を行う。また、庄内地域福祉有償運送運営協議会の会議に参加する。その他、米沢中央高校(1)、酒田南高校(1)、羽黒高校(2)での模擬授業や審査委員を務める。さらに、リクナビ企画のミニ講義をオンラインで行い、その後、やはりリクナビの企画で、全国の高校生からの質問に答えるというイベントにもオンラインで参加した。質問をした学生の中には、酒田西高校の生徒もいたため、本学へのリクルートや高校生の進路に関して、ヒントになっていたものと考えている。					

氏 名		広 崎 心				
職位・コース		准教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年（元号併記）	発表者名（共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入）	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	大学生による意味的価値を 携えた商品開発の実践－山 形県庄内地域における地産 地消を視野に入れた商品開 発の報告－	亜東経済国際学会 研究叢書	第26巻 pp. 127-137	2025年3月	広崎心（単独）	
2	医薬品業界におけるライフ サイクルマネジメント戦略 の実施目的に関する考察	日本経営倫理学会誌	第32巻	2025年3月	広崎心（単独）	
3	Feasibility of Using the Japanese version of the Mental Health Continuum Short Form (MHC-SF-J) as an Evaluation Scale for Electronic Patient	Japanese Journal of Applied IT Healthcare	19(2)	2025年3月	Hisao Toyoshima, Masayoshi Koinuma, Shin Hirosaki, Tomohide Akase	
4	企業規模による行政処分 の不均一性の解決策に関する 考察－沢井製薬への行政処 分の妥当性を踏まえて－	インテリジェンス・ マネジメト	第15巻	2025年3月	広崎心（単独）	
査読無し学術論文等						
1	医薬品業界におけるGMP違反 に関する然るべき行政処分 のあり方に関する考察	実践経営学研究	第16巻 pp. 235-242	2024年8月	広崎心（単独）	
国際会議発表論文等						
1	Practice of Product Development with Local Production for Local Consumption and Semantic Value by University Students－Activity Report in the Shonai Area of Yamagata Prefecture－	2024 Smart Industry Development and Talent Education International Conference	台南科技大学	2024年5月24日	広崎心（単独）	対面
口頭発表等（招待講演・学会発表等）						
1	医薬品業界におけるライフ サイクルマネジメント戦略 の実施目的に関する考察－ オーソライズドジェネリッ クを中心として－	第32回日本経営倫理学会 研究発表大会	関西大学	2024年6月30日	広崎心（単独）	対面
2	医薬品業界におけるGMP違反 に関する然るべき行政処分 のあり方に関する考察	第67回 実践経営学会 全国大会	日本大学 経済学部	2024年8月25日	広崎心（単独）	対面
3	産学連携企画におけるプロ ジェクトマネージャー制導 入への挑戦	第43回 商品開発・管理 学会全国大会	オンライン	2025年3月15日	広崎心（単独）	オン ライン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
産業学会、日本マーケティング学会、商品開発・管理学会、実践経営学会、日本経営倫理学会、コンペティティブ・インテリジェ ンス学会、日本ファルマアライアンス協会						
②各種学会における活動状況						
商品開発・管理学会 付属研究所担当理事、日本ファルマアライアンス協会 渉外企画部 理事 研究・イノベーション学会、商品開発・管理学会、亜東経済国際研究学会でそれぞれ研究論文の査読を行った。						
3. 研究資金獲得状況						
受託研究 関係	件数	契約先名		契約金額		
	1 件			円		
民間機関 等共同研 究	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	株式会社本長		60,000 円		
				円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 地元企業と計16件、13製品の商品開発と7回のイベント企画・支援を行った。2月末時点で、新聞記事8件(+Webで5件)、コ ミュニティ紙1件で紹介され、なかでも1月2日の庄内日報の食に関する特集記事で本長との商品企画が紹介された。3月中にさ らに新聞記事orテレビ取材数が増えると思われる。					

氏 名	西村 まどか				
職位・コース	准教授・メディア情報コース				
1. 学会活動に関する業績					
①所属学会等					
IEEE, IPSJ, JPS					
2. その他					
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市教育委員会との科学教育、数学教育を通した最新の学問への発信を実行				

氏 名	Edmund Fec					
職位・コース	准教授・国際教養コース					
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	Teaching Hacks for English Speaking Classes at Japanese Universities	東北公益文科大学総合研究論 集 酒田：東北公益文科大学	49号、pp. 47-56	2025年2月	Edmund Fec	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	Teaching Hacks for English Speaking Classes	Japan Association for		2024年9月	Edmund Fec	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
1. 全国語学教育学会 (JALT: The Japan Association for Language Teaching) . 2. TESOL International Association. 3. 東北英語教育学 会 (TELES)						
②各種学会における活動状況						
I attended the Yamagata JALT Mini Conference in September 2024 at which I gave a presentation.						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有 ☒ 無 ☐	種別：		円		
		種別：		円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) I was the co-presenter at the Forum 21 presentation in November 2024 for Sakata citizens at this university. The presentation was entitled 「英語多読で語彙力アップ 辞書を使わない英語学習」.					

氏 名	植田 和憲					
職位・コース	准教授・メディア情報コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)	開催形態
紀要等						
1	「なぜ今データサイエンスなのか～AI 技術とのシナジーがもたらす進化と展望～」に関する報告	東北公益文科大学	47	2025	植田和憲	
国際会議発表論文等						
1	The Prototype Implementation of Routing Method Based on Deployed Order in Wireless Mesh Networks	Lecture Notes on Data Engineering and Communications Technologies		2024年	Kazunori Ueda	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE						
②各種学会における活動状況						
情報処理学会マルチメディア通信と分散処理研究会運営委員						

氏 名	白旗 希実子		
職位・コース	准教授 ・ 政策コース		
1. 学会活動に関する業績			
①所属学会等(必須)			
日本教育社会学会 日本高等教育学会 日本職業教育学会 日本社会福祉学会 日本教育学会 東北教育学会 山形県社会福祉士会 子ども社会学会 M-GTA研究会			
2. 研究資金獲得状況			
科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・ ☒ 無	種別： 基盤研究 (C)	2616380 円
		種別：	円

氏 名		鈴木 淳一				
職位・コース		准教授 ・ 地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年（元号併記）	発表者名（共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入）	開催 形態
著書（翻訳含む）及び辞書等						
1	日本消費経済学会創立50周年記念集 第1巻 消費経済学 第13章「介護と消費」	五紘舎	pp. 197-213	2025（令和7）年（予定）	宮城好郎・鈴木淳一（分担執筆）	
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	社会福祉法人経営の公益性認識に「差異」が生じる分岐点、持続可能性への道筋の「齟齬」に関する一考察—マルチステークホルダーの認識のテキストマイニング分析—	岩手県立大学社会福祉学部紀要	第26巻（pp. 1-11）	2024		
2	公益性と事業性を両立する社会福祉法人経営の実態—TEAを用いた経営プロセスの類型化—	消費経済研究	第13巻（pp. 41-55）	2024		
3	地域共生社会の実現に向けたレジデンシャルワークの検討—レジデンシャルワーク概念のまとめと今後の展開の展望—（査読付き研究ノート）	東北の社会福祉研究	第20号	2024		
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本消費経済学会、東北経済学会						
②各種学会における活動状況						
日本社会福祉学会東北部会第23回研究大会（出席）						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有 無	種別： 研究スタートアップ支援…不採択（A）		0 円		
		種別：		円		

氏 名		小関 久恵				
職位・コース		准教授・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「住民主体のまちづくり」を先駆 的に進めた山形県市町村における 地域住民のエンパワメントと新し い包括的支援システムの構築～ 「山形会議」65年後に展望する ソーシャルワーカーの役割～	日本ソーシャルワーク学 会コラボ・セミナー 2025in山形		令和7年2月23日 (2025年2月23日)	小関久恵(コメンテ ーター)	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
大学教育学会、日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会						
②各種学会における活動状況						
日本社会福祉教育学会理事及び事務局長						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・ ☒ 無		種別：		円	
			種別：		円	
受託研究 関係	件数		契約先名		契約金額	
	3 件		酒田市(酒田市総合計画(後期計画)施策 の行政評価)		1042000 円	
			酒田市(酒田市総合計画(後期計画)に係 るアンケート調査分析)		933300 円	
			庄内総合支庁(令和6年度農村型地域運営 組織形成伴走支援(その1))		348,480 円	
4. その他						
地域課題関係		(地域課題解決のための研究・活動状況) 主な活動としては、15年目の関わりとなる酒田市日向地区の農林水産省農山漁村振興交付金「農村型地域運 営組織(農村RMO)形成推進事業」の採択を受け、新たに立ち上げた「日向ふるさとづくり協議会」のビジョン 及びアクションプラン策定のためのワークショップのファシリテーターを担当した(庄内総合支庁農村RMO形成 伴走支援チーム)。その他、例年通りゼミ活動を通じた課題解決の取り組みとして、コミュニティセンターに開 設したコミュニティカフェ「日向里かふえ」における、子どもの遊び場(居場所)の企画運営(にっこりラン ド)を定期的に行う(全9回)、秋祭り等地域行事への協力・参画を行った。また、令和3年度に策定した同地 区コミュニティ振興会の地域づくりビジョンの行動計画のうち、特に「移動するコミュニティ」(アウトリーチ 型の小さなコミュニティ形成)の取り組み、「日常生活を支える仕組みづくり」の検討について、最終年の計画 遂行に学生とともに協力した。				

氏 名		樋口 恵佳				
職位・コース		准教授・政策コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	Climate Change and United Nations Convention on the Law of the Sea -- East Asian perspectives concerning ITLOS advisory opinion No.31	第23回国連東アジアセミナー (日本国際連合学会)	—	2024年 (令和6年)	Eka HIGUCHI	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本国際連合学会、日本海洋政策学会、世界法学会、国際法学会、青森法学会、グローバル・ガバナンス学会						
②各種学会における活動状況						
日本国際連合学会渉外委員会 委員						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有 無		種別： 若手研究(R3-5)21K13196]		(直接経費、間接経費込)2340000 円	
			種別：		円	

氏 名		松尾 慎太郎				
職位・コース		准教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年（元号併記）	発表者名（共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入）	開催 形態
著書（翻訳含む）及び辞書等						
1	第15章 監査調書（『財務 諸表監査の基礎概念』所 収）	中央経済社	pp. 262-286	2024年 （令和6年）	松尾慎太郎	
2	第21章 監査意見以外の記 載事項（『財務諸表監査の 基礎概念』所収）	中央経済社	pp. 388-424	2024年 （令和6年）	松尾慎太郎	
口頭発表等（招待講演・学会発表等）						
1	「監査上の主要な検討事項 （KAM）」の実務の定着と 浸透に向けた取組みの効果 に関する分析	日本監査研究学会		2024年	松尾慎太郎	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本会計研究学会、日本監査研究学会、国際会計研究学会、アメリカ会計学会。						
②各種学会における活動状況						
日本監査研究学会（幹事）。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有		種別： 若手研究		900,000 円	
			種別：		円	

氏 名	渡辺 伸子
職位・コース	講師・経営コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
総説・解説等						
1	私にも“こころ”がある	発達心理学会	ニューズレター, 104号	2025年2月28日	渡辺 伸子	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	家計管理行動尺度作成の試み	パーソナリティ心理学会	第33回大会	2024年10月6日	渡辺 伸子	

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本心理学会・日本青年心理学会・日本パーソナリティ心理学会・日本応用心理学会・日本教育心理学会
②各種学会における活動状況
日本青年心理学会第33回大会準備委員

3. 研究資金獲得状況

科研費関 係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別： 研究活動スタート支援	2,600千 円
		種別： 若手研究	3,770千 円

氏 名		藤原 良太				
職位・コース		助教 ・ 地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁（-）	発表・発行西暦年（元号併記）	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）	開催形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	通常学級・通常高校に通う「知的障害児・者」が被る排除の検討を通した社会システム理論の応用可能性——意味的な排除／包摂の揺らぎに注目して	障害学研究	21号・94-119	2024	藤原良太	
紀要等						
1	障害の社会モデルは教育の場でいかに受容されるのか——小学校における「車いすユーザーの社会」の授業実践を事例とした検討	東北公益文科大学総合研究論集	48号・59-71	2024	藤原良太	
2	社会システム理論を応用した子どもの排除／包摂の過程の記述——児童相談所業務を事例として	東北公益文科大学総合研究論集	49号・23-45	2025	藤原良太	
口頭発表等（招待講演・学会発表等）						
1	子どもの生活をつなぎ、広げる支援の「てまえ」	第33回山形県知的障がい者福祉大会		2024	藤原良太	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本障害学会、日本社会臨床学会、日本教育社会学会、日本解放社会学会						
②各種学会における活動状況						
日本障害学会『障害学研究』査読者						
3－3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有・無		種別：		円	
			種別：		円	

氏 名		張 紅				
職位・コース		助教・観光まちづくりコース				
1. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本地理学会、東北地理学会、地理空間学会						
②各種学会における活動状況						
日本地理学会の夏大会と春大会に参加した。東北地理学会の秋大会は実行委員として運営に参加した。						
2. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有		種別： 若手研究（2／24結果未知）		円	
			種別：		円	
その他外部資金	件数		契約先名		契約金額	
	1 件		私学事業団若手・女性研究者奨励金（2／24結果未知）		円	
					円	